

サイレージ用とうもろこしの推奨品種の編入・廃止

(畜試 草地部)

1. 背景とねらい

サイレージ用とうもろこしの品種数は年々増加している。特に、輸入品種においてはより能力の高い品種への切り替えが早くなり、品種の流通上の寿命も短くなってきている。そこで、最近の栽培試験等から本県に適用すると認められる1品種を推奨品種に編入し、種子流通が行われなくなる3品種を廃止した。

2. 技術の内容

(1) 編入する品種の来歴及び品種特性

市販・品種名	マティコ-ン8344	系 統 名	Garst8344	
来 歴	アメリカ ガ-スト社	粒 質	デント×デント	
試 験 年 次	S.62 ~ H.1	編 入 年 次	平成元年	
播種～発芽まで日数	13	稈長 (cm)	269	
同上単純積算温度 (°C)	182.7	着雌穂高 (cm)	135	
同上有効積算温度 (°C)	51.3			
播種～雄穂抽出期まで日数	80	生草収量 (Kg/10a)	7870	
同上単純積算温度 (°C)	1470.9	収量	全 重 (Kg/10a)	2211.3
同上有効積算温度 (°C)	669.4		雌穂重 (Kg/10a)	1206.7
播種～絹糸抽出期まで日数	82	乾物生産速度 (Kg/10a、日)		1.66
同上単純積算温度 (°C)	1503.1	TDN収量 (Kg/10a)	1610.3	
同上有効積算温度 (°C)	688.3			
播種～絹糸抽出期まで日数	133	適 地	県北部と標高500m以上を除く	
同上単純積算温度 (°C)	2525.6			
同上有効積算温度 (°C)	1194.2			
適正栽植本数 (10a当り)	6000 ~ 6500 本			

(2) 廃止する品種とその理由

区分	早晩性	品種・系統名	廃止の理由
推奨	早 生	ノーデント JX77 (JX 77)	より能力の高い品種に切り替えるので、種子の供給が中止されるため。
	晩 生	ノーデント JX167(JX167)	
	晩 生	ノーデント G4578(G4578)	

3. 選定の理由

- (1) マイティコーン8344は中晩生の推奨品種 (PX77A、Garst8388、G4513、G4578、P3352、TX330) の平均値と比較すると、乾物収量、乾物生産速度、TDN収量ともほぼ同等の成績であるほか根腐病にも強い。
- (2) とうもろこしの総合評価法によるとマイティコーン8344は2年間 (S.63~H.1) 連続してAランクの成績であった。

4. 普及上の留意点

- (1) 一代雑種であるので自家採種はできない。
- (2) 適正栽植本数を厳守し栽培する。
- (3) 中晩生の品種であるので、高冷地では黄熟期に達しない。各地域の無霜期間の有効積算温度に合わせて使用する。

5. 試験成績

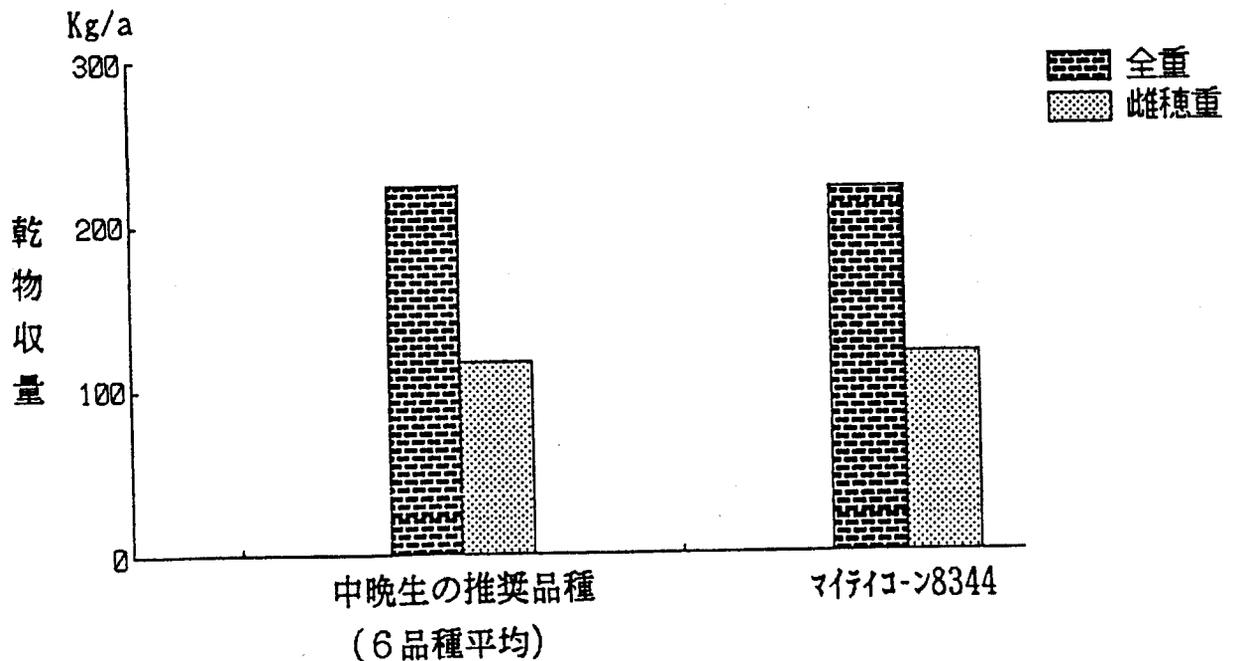


図 標準品種との収量比較